



# 「社会適応に関する作業療法」

保健福祉学部 作業療法学科  
 助教 永吉 美香（ながよし みか）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3406号室  
 Tel 0848-60-1120 Fax  
 E-mail nagayosi@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 作業療法

キーワード： 社会適応 思春期青年期 非行 発達障害

## ● 主な取り組み・活動

非行、学校での問題行動、引きこもり等、社会的不適応の状態にある児童・青少年に対して、どのような応援ができるかについて考え、取り組みを行っています。

社会的不適応には、心理的側面や、発達障害等の資質に関する要因のほか、家族、地域、経済、文化、教育・社会システムなど、多くの事柄が関連していると考えられており、様々な角度から取り組みが行われています。

これらの問題に対し、作業療法士としての視点から、「その人が何をして毎日を過ごしたいのか」を一緒に探し、実現を応援することで、健康的な生活への糸口を見つけようという考えを軸に、実践や研究を続けています。

これまでには、ご本人、保護者、学校等と連携しての直接的な支援のほか、当事者会や親の会等の社会資源の支援、非行に関する当事者インタビューや地域社会への啓発活動などを行ってきました。

## ● 今後の目標・抱負

今後は、これまでに行ってきた活動を継続しさらに深めて行きたいと思えます。

ご本人への直接的な支援においては、当事者主体の、作業を切り口としたアプローチを探求すると同時に、各分野の知見や技法との融合を試みてゆきたいです。

また保護者や学校の先生等、支える立場の方々が集い、話せる場を作るなど、相互支援の場を拡充していきたいと考えています。

特に非行関連分野では、当事者への実際的な作業療法介入をすすめ、将来的には、司法システムともリンクした、包括的な支援モデルの開発を目指したいと考えています。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域の方々に対する、講演やワークショップ等を行い、社会不適応についてより広く理解していただくと同時に、NPOや活動団体等とも協力して、実際に地域社会の方々や児童・青少年が作業を共有できる場と機会を作りたいと考えています。

また、司法・福祉関連の諸機関と連携し、非行少年の作業特性を明らかにし、それに基づいて、矯正関連施設内や社会内での効果的な介入を開発して行きたいです。

## ● これまでの連携事例・実績

- 三原シティカレッジ：「カッコつけていこう」（非行の経験者と市民で非行を考える会）
- 青少年健全育成広島県民会議：「少年非行について考える」（当事者等との講演会）
- 近隣市町の小・中・高校との連携
- 司法・福祉関係の諸機関との連携